「えっ!!先進国の中で癌死亡率が上昇しているのは日本だけ!!」

～早期発見!乳がん検診を受けましょう!～

講演では、「部位別の癌死亡原因で30代～60代までの第1位を占めているのが乳がん。

先進国の中で死亡率が上昇しているのは日本だけ、他の国では、罹患率（がんになる確率）は上昇しても死亡率は減少している。理由は受診率が高く早期発見し、治療できるからだ。

日本の受診率は約20%、欧米は70～80%、韓国は65%以上。いかに低いかが分かる。

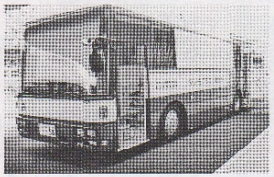
治療の進歩、マンモグラフィの導入も進み、欧米と遜色ない状態になってきている。

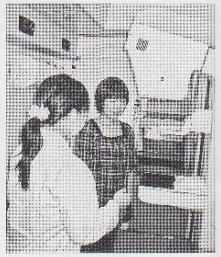
足りないのは啓蒙活動。受診率を上げることが必要であり、問題解決の道だ。その努力は行わなければならない。」と述べました。

最後に「早期発見すれば乳がんは怖くない、乳がん検診を受けましょう、時々は自己検診をしましょう。」と締めくくりました。

マンモ検査デモ →

マンモグラフィ車↓





そのほかにマンモグラフィ車の見学とマンモグラフィ認定技師（診療放射線技師　堀田麻衣）による検査デモが行われた。当センターでは、啓蒙活動の強化に努め、受診率の向上を祈っています。

（文責　法人本部事務局　事業企画室　笠原典彦）

※この情報はナショナルマンモグラフィデー（注2）にホームページにアップされました。

注1. ピンクリボン運動（1980年代:アメリカ）は、乳がんで若くしてなくなった女性の母親が、残された家族と一緒にピンクリボンを作ったのが最初と言われている。乳がんの啓蒙活動。日本では、10月のピンクリボン月間に東京タワーやレインボーブリッジなどをピンクにライトアップするなどで注目を集めているのもこの啓蒙活動の一環。

注2. ナショナルマンモグラフィデー（1993年:アメリカ制定）は、10月第3金曜日にアメリカでは、女性が無料でマンモグラフィが受けられるようにし、受診環境を整えている。

新任医師紹介

小児科　坂井（さかい）　聡（あきら）

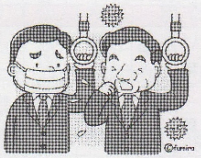
出 身 校／浜松医科大学（平成19年卒）
専門領域／小児科
趣　　味／読書・ダーツ

まだまだ至らない点もありますが、頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

院内感染対策委員会より お知らせ です

今年は「新型インフルエンザ」と「季節性インフルエンザ」が重なって流行する事が予想されます。どちらも感染している人の咳やくしゃみ、つばなどのしぶき（飛沫）に含まれているウイルスを、鼻や口から吸い込むことによって感染します。また、バスや電車のつり革や手すり、ドアノブやスイッチ等にウイルスが付着したものに触った手で、鼻や口、目に触れることによってウイルスが粘膜などを通じて感染することもあります。

双方のインフルエンザも予防策は基本的に同じです。



《インフルエンザにかからない工夫とうつさない配慮についてご紹介します。》

①人込みを避けましょう
②咳エチケットを実行しましょう
・ 周囲の人からなるべく離れてください（しぶきは約2メートル飛びます）
・ 咳やくしゃみが出ている期間はマスクを着用しましょう
・ 咳やくしゃみをする時は他の人から顔をそらし、ティッシュ等で口と鼻を覆いましょう
・ 咳やくしゃみを抑えた手は洗いましょう
・ 使用後のマスクやティッシュ等は直ちにゴミ箱に捨てましょう
③ 石鹸と流水で手洗いをしましょう

もしも、自分がインフルエンザにかかってしまったら...

Ⅰ 前項に述べた①～③を全て守りましょう
Ⅱ 処方されたお薬は指示通りに最後まで飲みましょう
Ⅲ 水分補給と十分な睡眠を心がけましょう

もしも、家族がインフルエンザにかかってしまったら...

Ⅰ 看護をしたあとには必ず手を洗いましょう
Ⅱ 可能ならば患者さまと別の部屋で過ごしましょう
Ⅲ 患者さまと接するときにはマスクを着用しましょう

持病をお持ちの方や妊婦の方は、発症時の対応をかかりつけ医師にご相談下さい。

※持病をお持ちの方
・ 慢性呼吸器疾患（喘息、ＣＯＰＤ等）
・ 慢性心疾患（先天性の心臓病）
・ 代謝性疾患（糖尿病）
・ 腎機能障害（透析中の方）
・ 免疫機能不全
（ステロイド薬を内服中の方）

（文責:医療安全管理室 看護師 佐野 由美）